

研究データリポジトリ

Materials Data Repositoryとその利用事例

2024. **7. 1** [Mon] 14:00-15:30

オンライン開催 (Zoom事前登録制)



講師

田邊 浩介

(NIMS 技術開発・共用部門
主幹エンジニア)



講師

石井 真史

(NIMS マテリアル基盤研究センター
主席研究員)

Materials Data Repository (MDR, <https://mdr.nims.go.jp>)は、物質・材料研究機構が運用する研究データリポジトリです。機構研究者の研究成果となる論文、ならびに研究データ約16,000件(2024年5月時点)が登録されています。MDRの特徴として、材料科学分野を対象としたメタデータスキーマの利用や、DOIなどの識別子の付与を通じた他のデータベースへの応用が挙げられます。本発表では、MDRのサービス内容に加えて、これらの特徴がどのように研究データの検索や公開に貢献しているかをご紹介します。

また、MDRでの研究データ公開の応用事例として、MDR XAFS DB (<https://doi.org/10.48505/nims.1447>)をご紹介します。MDR XAFS DBは、代表的な放射光実験であるX線吸収分光(XAFS)のスペクトルを国内6機関からご提供いただき、NIMSのMDR上で一つにまとめた統合データベースです。ここでは、適切なメタデータ処理と語彙管理により、提供機関の違いを全く感じさせない横断検索が実現できました。MDRのメタデータスキーマや機能と整合を取りつつ、多様なデータを整理し、ユーザビリティを向上させる、データ駆動に必須の基盤構築の一例をご紹介します。この技術は、国際的なXAFSデータベース統合検索にも発展し(<https://materiage.org/xafs/>)、コミュニティや材料科学全体の研究力強化に寄与しています。

※データリポジトリやMDR利用の初心者、中級者を対象としたセミナーです。

※事前に参加登録が必要です。

右のQRコードもしくは下の参加登録URLにアクセスして下さい。

参加登録URL:

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_CGVdbQZxTtKmf-QcKFWnTw

